施策評価シート

1. 基本情報

1111116			
まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うま	ち	
施 策	子育てしやすいまちづくり		
基本施策	子どもの健やかな発育の支援		
取り組み事項	多様な保育サービスの充実を図	る	
主管部局	健康福祉部 子育て元気課	関連部局	

めざす暮らしの姿 子どもの健やかな発育の支援

基本方針

保護者が不安なく子育てと仕事を両立できるよう、安心して子どもを預けられるサービスの充実を図るとともに、地域ととも に子育てする実感が得られるよう、様々な子育て支援を充実させる。

施策の方針

仕事をしながら子育て中の保護者が安心して働けるよう、また、子どもが安全に過ごせるよう、保護者のニーズの把握に努 め、多様なサービスを実施する。

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			2.15	2.15	0.25	0.25
会計年度任用職員数			0.45	0.45	0.0	0.0
人件費計			15,224,789	17,106,334	1,912,466	1,912,466
事業費計			676,903,143	770,304,000	13,045,000	13,045,000
フルコスト			692,127,932	787,410,334	14,957,466	14,957,466

単位:人、円 (2)歳入

		実績値				計画値	
		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特	国庫支出金			248,757,760	232,142,000	1,470,000	1,470,000
定	県支出金			130,168,431	109,489,000	1,920,000	1,920,000
財	市債					0	0
源	その他			93,930,000	46,608,000	0	0
— 舟	段財源1			219,271,741	399,171,334	11,567,466	11,567,466
— 舟	段財源2			204,046,952	382,065,000	9,655,000	9,655,000

3. 成果指標

(1)成果指標

指標名		待機児童	氫数				
単位		人					
指標数値のめざ	す方向	減少					
年度	R;	元	R2	R3	R4	R5	R6
単年度目標値		0	0	0			
単年度実績値		3	5	7			
単年度達成率							

(2)施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	待機児童数
前年度との比較	
	待機児童の原因である保育士不足の解消を目指す。
所見	

構成事務事業の事後総合評価

伸戍争伤	事業の事後総合評価		
事務事業名	事務事業担当者の評価	上位責任者の評価	総合評価
	担当者所見	方向性及び所見	
	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	
利用者負担額 補助事業	引き続き実施していくことで、対象となる世帯の経済的負担の軽減を図る。	引き続き実施していくことで、対象となる世帯の経済的負担の軽減を図る。	A
	B:現状のまま継続	 B:現状のまま継続	
	日: 現仏のまま極枕	日: 現仏のまま極枕	
保育士等就業 支援事業	引き続き事業を実施することで、保育士確保を推進し、待機児 童解消を目指していく。	事業の周知を徹底することで、保育士確保を推進し、待機児童 解消を目指していく。	A
	こ.シピバンのの中に切し	こ. シピパマノ から 小型 中心	
副食費補助事 業	保育料無償化の対象とならない副食費部分を補助することで、 効果的な補助を実施出来ている。	引き続き実施することで、保護者の経済的負担の軽減を図る。	A
		C∶改善・見直しの上で継続	
保育対策総合 支援事業	現在の事業は国庫補助の要件であることから、利用のための ハードルが高いため、財源も含め別の手法を検討する必要が ある。	活用しやすい制度とするため、補助要件を見直し、より実効性のある事業を目指す。	D

評価対象外の構成事務		- 76 W 4-	
	1	事務事業名	
保育所管理運営委託事業			
保育所等運営事業 特別保育補助事業			
保育所施設整備事業			
床 目			
	-		
施策の事後総合評価 (1)施策成果指標			
施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
待機児童数	_		
	 単年度目標平均達成率(a)	 達成度 ((a)による自動判定)	 達成状況
	0%	低	C:努力を要する
【総合評価】施策成果指標	達成状況の原因分析、説明等		0.7777247
		上不足が深刻であり、保育士確 係	Rのための事業を実施するも待機児童解
(2)施策の事後総合評価			
	いいえ		
当初方針の通りに進んだか	保育士宿舎借り上げ支援事	業について、利用のためのん	ヽードルが高く、現在まで利用実績が
	ない		
構成事務事業に課題はな いか		、保護者の経済的負担軽減	のための事業をバランス良く実施して
He for a wo A ST IT		-17	
施策の総合評価	B:おおむね順調に進捗して		** ロル本米と中佐している
施策の方針に対する実績、 指標の達成状況の分析、 今後の課題・方向性		等的負担軽減のため引き続き	適切に事果を実施している。
今年度の成果等		業は新たに3人の保育士の家	就業支援を行い、利用者負担額補助 事業では延べ3, 462月6, 924, 00
第三者評価委員会意見			

施策評価シート

年度

1. 基本情報

まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うま	ち	
施 策	子育てしやすいまちづくり		
基 本 施 策	子どもの健やかな発育の支援		
取り組み事項	子育て支援サービスを充実する		
主管部局	健康福祉部 子育て元気課	関連部局	

めざす暮らしの姿

子どもの健やかな発育の支援

基本方針

保護者が不安なく子育てと仕事を両立できるよう、安心して子どもを預けられるサービスの充実を図るとともに、地域とともに、子育てする実感が得られるよう、様々な子育て支援を充実させる。

施策の方針

子育て中の保護者が、悩みを共有したり、気軽に相談できる子育ての仲間をつくり、心理的な負担が軽減されるよう拠点を 整備し、全ての家庭が必要な支援を受けられるようサービスの充実を図るとともに閉じこもりがちな保護者への働きかけを 行う。

また、様々な子育てサービスの情報を提供する体制の充実を図る。

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			1.84	1.84	0.58	0.58
会計年度任用職員数			2.88	2.88	2.77	2.77
人件費計			16,542,921	18,294,034	8,494,078	8,494,078
事業費計			937,489,850	527,106,000	19,495,000	19,495,000
フルコスト			954,032,771	545,400,034	27,989,078	27,989,078

(2)歳入 単位:人、円

		実績値				計画値	
		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特	国庫支出金			304,320,751	316,098,000	469,000	469,000
定	県支出金			61,945,332	63,025,000	469,000	469,000
財	市債					0	0
源	その他					0	0
一 舟	段財源1			587,766,688	166,277,034	27,051,078	27,051,078
— 舟	段財源2			571,223,767	147,983,000	18,557,000	18,557,000

3. 成果指標

(1)成果指標

指標名	利用者数	汝				
単位	人					
指標数値のめざ	す方向 維持					
年度	R元	R2	R3	R4	R5	R6
単年度目標値	15,000	15,000	15,000			
単年度実績値	15,837	14,118	11,775			
単年度達成率	105.58%	94.12%	78.5%	-	-	_

(2)施策成果指標の結果に対する所見

(-/ NOP 4/240 43 H	M
成果指標	利用者数
前年度との比較	
	新型コロナウイルス感染症の影響により様々な行事等が実施出来ず、利用者数が減少しているが、保護者からの子育てにかかる相談も多く、地域における子育ての重要な拠点である。

構成事務事業の事後総合評価

1177V T-121	事業の事後総合評価		
事務事業名	事務事業担当者の評価	上位責任者の評価	総合評価
争物争未有	担当者所見	方向性及び所見	心口口叫
	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	
子育で情報提 供事業	子育て中の親に、仲間づくりや情報交換が出来る地域の拠点 や子育て関連情報の提供を行い、子育て支援を推進出来てい る。	引き続き適切に子育て関連の情報提供等を実施していく。	В
	B:現状のまま継続	 B:現状のまま継続	
子育て学習活 動推進事業	新型コロナウイルス感染症により年間の事業回数は減少した ものの相談件数は増加傾向にあり、引き続き相談内容に合っ た支援や関係機関につなげる必要がある。	地域の子育で拠点として重要な役割を果たしており、引き続き現在の体制を維持し実施していく。	A
	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	
修学旅行援助 事業	要保護、準要保護世帯の児童が安心して修学旅行に参加でき	適切に対象者に支給が出来ており、引き続き現在の体制を維持し実施していく。	A
	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	
子供の遊び場 等設置補助事 業		利用実績が無い年度もあることから自治会等に制度周知を行い、引き続き実施していく。	В
	B:現状のまま継続	 B∶現状のまま継続	
ファミリーサ ポートセンター 事業	引き続き事業を継続していくことで、仕事と育児を両立できる環境の整備や地域子育て支援を行い、保護者等や児童の福祉 の増進を図る。	仕事と育児を両立できる環境の整備や地域子育て支援を行い、引き続き保護者等や児童の福祉の増進を図る。	В
	C∶改善・見直しの上で継続	L C∶改善・見直しの上で継続	
子育て応援券 交付事業	利用できるサービスの見直しを含め、事業の在り方を検討して いく必要がある。	利用実績としては任意の予防接種が大半を占めているが、予防接種の状況により利用実績が大きく影響を受けるため、利用できるサービスの見直しを含め、事業のあり方を検討する。	В
	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	
出産祝金支給 事業	1号祝金、2号祝金とも適切に支給出来ている。引き続き適切な支給に努め、定住促進の効果を高める。	引き続き出生児及び多子世帯を祝うことで定住を促進していく。	A

評価対象外の構成事務	§事業一覧		
		事務事業名	
社会福祉協議会活動事業(子育て))		
児童手当等支給事業			
子ども・子育て支援事業			
児童福祉総務費事務経費			
児童手当等支給事務事業			
	-		
施策の事後総合評価 ⑴施策成果指標			
施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
利用者数	78.5%	↓:低下	78.5%
利用者数	62.88%	↓:低下	62.88%
	 単年度目標平均達成率(a)	 達成度 ((a)による自動判定)	
	70.69%	低	B:おおむね順調
【総合評価】施策成果指標	達成状況の原因分析、説明等	19	D. 0303公 14MR 助河
1000日町川山100米八大木1日1茶	新型コロナウイルス感染症の影	、響により利用者数は減少傾向に き続き体制を維持し、事業を実施	こあるものの、保護者からの子育てにかか 返していく。
(2)施策の事後総合評価			
	いいえ		
当初方針の通りに進んだか	子育で応援券の利用実績が	^想定よりも減少している。	
	ない		
構成事務事業に課題はないか		、地域の子育て支援の拠点、	、出生児のお祝い等、バランス良く事
W 45 - 40 A 1			
施策の総合評価	B:おおむね順調に進捗して		
			ではあるものの、子育て中の保護者 対する祝福など、重要な事業であるた
施策の方針に対する実績、 指標の達成状況の分析、 今後の課題・方向性			
	 子育て学習センターの年間 は延べ3,144人の利用がる また、子育て応援券を206/	あった。	、まちの子育て広場の年間利用者数
今年度の成果等 		を171人に、2号祝金を80.	人に支給し、出産のお祝いと出産に
第三者評価委員会意見			

年度

1. 基本情報

1. 至个旧刊					
事業番号	030302010004	事務事業名	利用者負担額補助事業		
まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち	施策	子育てしやすいまちづくり		
基本施策	子どもの健やかな発育の支援	取り組み事項	多様な保育サービスの充実を図る		
部名	健康福祉部	課名	子育て元気課		
事業の開始	令和2年度	終了年度	なし		
実施の概要	保育所、認定こども園等に在籍する児童に係	系る利用者負担額	[(保育料)を助成する。		
対象	保育所、認定こども園等を利用している児童	を養育する保護者	3		
目的	子育てにかかる経済的負担の軽減を図ることを目的とする。				
事務事業類型	ソフト事業				
関連計画					
	条例•規則•要綱				
根拠法令	相生市利用者負担額補助事業実施要綱 ひょうご保育料軽減事業実施要綱				

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値			計画値		
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.09	0.09	0.09	0.09
会計年度任用職員数			0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計			610,790	688,488	688,488	688,488
事業費計			2,467,400	3,120,000	3,120,000	3,120,000
フルコスト			3,078,190	3,808,488	3,808,488	3,808,488

(2)歳入 単位:人、円

		実績値 計画値					
		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特	国庫支出金			0	0	0	0
定	県支出金			1,917,800	1,920,000	1,920,000	1,920,000
	市債			0	0	0	0
源	その他			0	0	0	0
フルコ	コストー特定財源			1,160,390	1,888,488	1,888,488	1,888,488
事業	費計-特定財源			549,600	1,200,000	1,200,000	1,200,000

3. 評価指標

指標名	【質】申請	青 <u>率</u>				
単位	%					
指標数値のめざ	ず方向 維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値		100	100	100	100	100
単年度実績値		100	100			
前年比	ı	_	100%	_	_	_
単年度達成率	1	100%	100%	_	_	-

指標名1	支給対象	象者1件あたりのフ	'ルコスト			
単位	円/件					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値		100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
単年度実績値		79,804	109,935			

4. 事後評価 (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当で ある	対象者の経済的負担を軽減出来ている。	なし
有効性	B:比較的有効で ある	対象者の生活の質の向上を図ることが出来る。	なし
効率性	B:比較的効率 的である	対象者を抽出し、漏れなく申請勧奨出来ている。	なし
改革・改善プラン 達成度	B:比較的改革 改善効果がある	漏れなく申請勧奨し、対象者全員から申請を受理出来ている。	なし
透明性	B:比較的透明 性を確保してい る	市ホームページでの周知や、市内保育施設に周知することで、適切に 事業を実施出来ている。	なし

(2) 総合評価

<u>\-</u> /	100 H H I I I I I I I	
	総合評価	
	Α	

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	引き続き実施していくことで、対象となる世帯の経済的負担の軽減を図る。
休止・廃止となったときの 影響	廃止となった場合、対象となる世帯の経済的負担が増加する。

方向性	B:現状のまま継続
所見	引き続き実施していくことで、対象となる世帯の経済的負担の軽減を図る。

年度

3

1. 基本情報

11 22 11 110 110						
事業番号	030302010005	事務事業名	保育士等記	忧業支援事業		
まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち	施策	子育てしゃ	すいまちづくり		
基本施策	子どもの健やかな発育の支援	取り組み事項	多様な保育	すサービスの充実を	を図る	
部名	健康福祉部	課名	子育て元気	.課		
事業の開始	令和2年度	終了年度	なし			
実施の概要	保育業務に専従する者として市内の保育所育士として新たに勤務する者に一時金を交付		尿庭的保育	事業所、小規模保	育事業所に保	
対象	市内の保育所等に直接雇用され、保育業務	に専従する保育士	ととして新た	に勤務を開始した	者等	
目的	保育士等の市内保育所等への就職を促進し、保育の提供に携わる人材の確保を図る。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画	第2期子ども・子育て支援事業計画					
	条例•規則•要綱					
根拠法令	相生市保育士等就業支援事業実施要綱					

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値			計画値		
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.05	0.05	0.05	0.05
会計年度任用職員数			0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計			339,327	382,493	382,493	382,493
事業費計			300,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
フルコスト			639,327	1,382,493	1,382,493	1,382,493

(2)歳入 単位:人、円

		実績値				計画値		
		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度	
特	国庫支出金			0	0	0	0	
定	県支出金			0	0	0	0	
	市債			0	0	0	0	
源	その他			0	0	0	0	
フル	コストー特定財源			639,327	1,382,493	1,382,493	1,382,493	
事業	費計-特定財源			300,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	

3. 評価指標

(17/14/2014)								
指標名	【質】新力	【質】新たに勤務し始めた常勤保育士数						
単位	人							
指標数値のめざ	す方向 増加							
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
単年度計画値		10	10	10	10	10		
単年度実績値		4	3					
前年比		_	75%	_	_	_		
単年度達成率	_	40%	30%	_	_	_		

指標名1 新たに勤務し始めた常勤保育士数1人あたりのフルコスト						
単位	円/人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値		40,000	63,932.7	138,249.3	138,249.3	138,249.3
単年度実績値		100,000	213,109			

4. 事後評価 (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当で ある	現状、当市では待機児童が発生しているが、その主な要因は保育士不足によるものである。保育士を新たに確保することで待機児童解消を見込むことが出来る。	なし
有効性	B:比較的有効で ある	現状、当市では待機児童が発生しているが、その主な要因は保育士 不足によるものである。保育士を新たに確保することで待機児童解消 を見込むことが出来る。	なし
効率性	B:比較的効率 的である	対象者に対し、適切に一時金の交付が出来ている。	なし
改革・改善プラン 達成度	B:比較的改革 改善効果がある	保育士を新たに確保することで待機児童解消を見込むことが出来る。	なし
透明性	B:比較的透明 性を確保してい る	事業者等を通じ、適切に情報提供等を行えている。	なし

(2) 総合評価

<u>\-/</u>	100 H H I I IM	
	総合評価	
	Α	

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	引き続き事業を実施することで、保育士確保を推進し、待機児童解消を目指していく。
休止・廃止となったときの 影響	新たな保育士の確保に支障を来すおそれがある。

方向性	B:現状のまま継続
所見	事業の周知を徹底することで、保育士確保を推進し、待機児童解消を目指していく。

年度

1. 基本情報

1. 坐作用拟								
事業番号	030302010007	事務事業名	副食費補助	力事業				
まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち	施策	子育てしや	っすいまちづくり				
基本施策	子どもの健やかな発育の支援	取り組み事項		fサービスの充実を図る				
部名	健康福祉部	課名	子育て元気	.課				
事業の開始	令和元年度	終了年度	なし					
実施の概要	保育所、認定こども園等に在籍する3歳以上の児童に係る副食費を月額2,000円を限度に助成する。							
対象	保育所、認定こども園等に在籍する3歳以上	の児童を養育する	る保護者					
目的	保護者の経済的負担軽減を図ることを目的の	保護者の経済的負担軽減を図ることを目的とする。						
事務事業類型	ソフト事業							
関連計画	第2期障害児福祉計画							
	条例·規則·要綱							
根拠法令								

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値			計画値		
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.1	0.1	0.1	0.1
会計年度任用職員数			0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計			678,655	764,987	764,987	764,987
事業費計			6,924,000	6,720,000	6,720,000	6,720,000
フルコスト			7,602,655	7,484,987	7,484,987	7,484,987

(2)歳入 単位:人、円

		実績値			計画値		
		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特	国庫支出金			0	0	0	0
定	県支出金			0	0	0	0
	市債			0	0	0	0
源	その他			0	0	0	0
フルコ	コストー特定財源			7,602,655	7,484,987	7,484,987	7,484,987
事業	費計-特定財源			6,924,000	6,720,000	6,720,000	6,720,000

3. 評価指標

指標名	【質】申記	青率				
単位	%					
指標数値のめざ	ず方向 維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			100	100	100	100
単年度実績値			100			
前年比	_	-	_	_	-	_
単年度達成率		-	100%	-		_

指標名1	対象者1	人あたりのフルコ	スト			
単位	円/人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			30,000	30,000	30,000	30,000
単年度実績値			24,367			

4. 事後評価 (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当で ある	保護者の経済的負担の軽減につながり、生活の質的向上を図れている。	なし
有効性	B:比較的有効で ある	収入により副食費が免除される者を除き、全ての世帯が対象となり有 効である。	なし
効率性	B:比較的効率 的である	保育施設による代理受領により、現物支給を行うことで、保護者に対 する利便性を向上出来ている。	なし
改革・改善プラン 達成度	B:比較的改革 改善効果がある	保護者の経済的負担軽減につながり、生活の質的向上を図れてい る。	なし
透明性	B:比較的透明 性を確保してい る	保育施設等を通して申請勧奨を行い、適切に実施出来ている。	なし

(2) 総合評価

(2/		
	総合評価	
	Α	

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	保育料無償化の対象とならない副食費部分を補助することで、効果的な補助を実施出来ている。
休止・廃止となったときの 影響	廃止となった場合、対象となる世帯の経済的負担が増加する。

方向性	B:現状のまま継続
所見	引き続き実施することで、保護者の経済的負担の軽減を図る。

年度

3

1. 基本情報

11 TALABAK			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
事業番号	030302010008	事務事業名	保育対策総合支援事業		
	健やかな暮らしを守り支え合うまち	施策	子育てしやすいまちづくり		
基本施策	子どもの健やかな発育の支援	取り組み事項	多様な保育サービスの充実を図る		
部名	健康福祉部	課名	子育て元気課		
事業の開始	令和3年度	終了年度	なし		
実施の概要	保育士確保対策として、保育所等の事業者だことで、保育士が働きやすい環境を整備する		舎を借り上げるための費用の一部を支援する		
対象	採用された日から起算して5年以内の常勤の	D保育士			
目的	新たに市内の保育所等で働き始めた者が、保育士として働きしやすくなるような環境の整備を行い、保育士の定着を促進することを目的とする。				
事務事業類型	ソフト事業				
関連計画	第2期子ども・子育て支援事業計画				
	条例•規則•要綱				
根拠法令	保育士宿舎借り上げ支援事業補助金交付要	長綱			

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値			計画値		
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.01	0.01	0.01	0.01
会計年度任用職員数			0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計			67,865	76,498	76,498	76,498
事業費計			0	2,205,000	2,205,000	2,205,000
フルコスト			67,865	2,281,498	2,281,498	2,281,498

(2)歳入 単位:人、円

		実績値計画値					
		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特	国庫支出金			0	1,470,000	1,470,000	1,470,000
定	県支出金			0	0	0	0
	市債			0	0	0	0
源	その他			0	0	0	0
フル:	コストー特定財源			67,865	811,498	811,498	811,498
事業	費計-特定財源			0	735,000	735,000	735,000

3. 評価指標

	(·) (E = 2) E ()					
指標名	【質】新力	【質】新たに勤務し始めた常勤保育士数				
単位	人					
指標数値のめざ	す方向 維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			5	5	5	5
単年度実績値			0			
前年比	_	-	-	_	_	_
単年度達成率		_	-	_	-	_

指標名1	新たに菫	カ務し始めた常勤イ	呆育士数1人あたり	りのフルコスト		
単位	円/人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			13,573	456,299.6	456,299.6	456,299.6
単年度実績値						

4. 事後評価 (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	C:妥当性が低 い	事業者が宿舎を借り上げることが要件であり、利用のためのハードル が高い	あり
有効性	C:有効性が低 い	事業者が宿舎を借り上げることが要件であり、利用のためのハードル が高い	あり
効率性	C:効率性が低 い	事業者が宿舎を借り上げることが要件であり、利用のためのハードル が高い	あり
改革・改善プラン 達成度	C:改革改善効 果が低い	現在の事業は国庫補助の要件のため、利用のためのハードルが高いため、財源も含め別の手法を検討する必要がある	あり
透明性	B:比較的透明 性を確保してい る	事業者に対し、制度周知を行っている。	なし

(2) 総合評価

\ <u>_</u> /		
	総合評価	
	D	

(3)方向性評価(担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続			
	現在の事業は国庫補助の要件であることから、利用のためのハードルが高いため、財源も含め 別の手法を検討する必要がある。			
休止・廃止となったときの 影響	現状では利用者はおらず、影響はあまりない			

方向性	C:改善・見直しの上で継続
所見	活用しやすい制度とするため、補助要件を見直し、より実効性のある事業を目指す。

年度

1. 基本情報

TO SENT THE TAX					
事業番号	030302020001	事務事業名	子育て情報	报提供事業	
まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち	施策	子育てしゃ	っすいまちづくり	
基本施策	子どもの健やかな発育の支援	取り組み事項	子育て支持	爰サービスを充実する	
部名	健康福祉部	課名	子育て元気	ā 課	
事業の開始		終了年度	なし		
実施の概要	子育て支援を推進するため、子育て中の保護者などに仲間づくりや情報交換ができる地域子育て支援拠 点のイベント情報等、子育て関連情報を提供する。				
対象	子育てを行う全ての家庭				
目的	子育て中の保護者などに仲間づくりや情報交換ができる地域子育て支援拠点の情報提供を行い、子育て 支援を推進することを目的とする。				
事務事業類型	ソフト事業				
関連計画	第2期子ども・子育て支援事業計画				
根拠法令					

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値			計画値			
	令和元年度決算 令和2年度決算 令		令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度	
正規職員数			0.18	0.18	0.18	0.18	
会計年度任用職員数	度任用職員数		0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費計			1,221,580	1,376,977	1,376,977	1,376,977	
事業費計			360,612	370,000	370,000	370,000	
フルコスト			1,582,192	1,746,977	1,746,977	1,746,977	

(2)歳入 単位:人、円

		実績値			計画値		
		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特	国庫支出金			0	0	0	0
定	県支出金			0	0	0	0
	市債			0	0	0	0
源	その他			0	0	0	0
フルコストー特定財源				1,582,192	1,746,977	1,746,977	1,746,977
事業	費計一特定財源			360,612	370,000	370,000	370,000

3. 評価指標

指標名 【質】参加人数						
単位	人					
指標数値のめざ	ず方向 維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
単年度実績値	9,484	9,045	8,010			
前年比	_	95.37%	88.55%	_	-	-
単年度達成率	94.84%	90.45%	80.1%	_	-	-

指標名1		参加人数	対1人あたりのフル	コスト			
単位							
年度	令和为	元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値		46.6923	43.501	158.2192	174.6977	174.6977	174.6977
単年度実績値		49.2327	48.094	197.5271			

4. 事後評価 (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当で ある	子育て関連情報等を提供することで、子育て支援の推進を図れてい る。	なし
有効性	B:比較的有効で 子育て広場や子育て学習センター等でのイベントについて、保護者が ある 参加したいと思うものを選択する際の判断材料となっている。		なし
効率性	B:比較的効率 的である	子育て元気課が担当することで、他の子育て施策との調整・改善が期 待でき、効率的な情報提供が行えている。	なし
改革・改善プラン 達成度	C:改革改善効 果が低い	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントへの参加者が減少 傾向である。	あり
透明性	B:比較的透明 性を確保してい る	広報への折り込みチラシとして、全世帯に配布することで幅広くPRを 行えている。	なし

(2) 総合評価

<u>\-/</u>	100 H H I IM	
	総合評価	
	В	

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
	子育て中の親に、仲間づくりや情報交換が出来る地域の拠点や子育て関連情報の提供を行い、 子育て支援を推進出来ている。
	廃止となった場合、イベント情報を幅広く周知する手段が無くなり、イベント参加者が減少する可能性が高い。

方向性	B:現状のまま継続
所見	引き続き適切に子育て関連の情報提供等を実施していく。

年度

1. 基本情報

1. 至个旧刊						
事業番号	030302020002	事務事業名	子育て学習活動推進事業			
まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち	施策	子育てしやすいまちづくり			
基本施策	子どもの健やかな発育の支援	取り組み事項	子育て支援サービスを充実する			
部名	健康福祉部	課名	子育て元気課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	就学前の乳幼児とその保護者を対象として、不安や悩みに対応し、家庭や地域の教育力を高めるため、 子育て中の親子の交流等を促進し、相談活動、グループの育成、幼児教育学級等を開催する。					
対象	子育て中の親子	子育て中の親子				
目的	子育て中の保護者などの不安や悩みに対応し、家庭や地域の教育力を高めるとともに、相談業務を通じ就学前児童の健全な育成が図られることを目的とする。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画	第2期子ども・子育て支援事業計画					
	条例•規則•要綱					
根拠法令						

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値			計画値		
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.1	0.1	0.1	0.1
会計年度任用職員数			1.55	1.55	1.55	1.55
人件費計			2,861,392	3,035,236	3,035,236	3,035,236
事業費計			693,313	779,000	779,000	779,000
フルコスト			3,554,705	3,814,236	3,814,236	3,814,236

(2)歳入 単位:人、円

		実績値			計画値			
		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度	
特	国庫支出金			230,000	259,000	259,000	259,000	
元				230,000	259,000	259,000	259,000	
	市債			0	0	0	0	
源	その他			0	0	0	0	
フル	ンコストー特定財源			3,094,705	3,296,236	3,296,236	3,296,236	
事	業費計-特定財源			233,313	261,000	261,000	261,000	

3. 評価指標

	1 THE WILLIAM						
指標名	【質】利用	月人数					
単位	人						
指標数値のめざ	指標数値のめざす方向 維持						
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
単年度計画値	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
単年度実績値	9,484	9,045	8,010				
前年比	_	95.37%	88.55%	_	_	_	
単年度達成率	94.84%	90.45%	80.1%	_	_	-	

指標名1	利用者1	人あたりのフルコ	スト			
単位	円/人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	257.2694	145.5091	355.4705	381.4236	381.4236	381.4236
単年度実績値	271.2668	160.8724	443.7834			

4. 事後評価 (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当で ある	子育て環境の変化により、育児に関する悩みや不安を抱えた親は多く、幼稚園や保育所に通っていない親にとって身近で気軽に相談できる場である。	なし
有効性	B:比較的有効で ある	地域子育て支援拠点として親子の交流促進の場となり、育児等の不 安解消につながっている。	なし
効率性	B:比較的効率 的である	自主グループの育成や年齢に応じたグループ活動を行うことで子育て 家庭等の交流の場としての機能を発揮している。	なし
改革・改善プラン 達成度	B:比較的改革 改善効果がある	講演会、講座及びグループの育成を通じ、家庭や地域の教育力を高 めている。	なし
透明性	B:比較的透明 性を確保してい る		なし

(2) 総合評価

<u>\-</u> /	100 H H I I I I I I I	
	総合評価	
	Α	

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
	新型コロナウイルス感染症により年間の事業回数は減少したものの相談件数は増加傾向にあり、引き続き相談内容に合った支援や関係機関につなげる必要がある。
休止・廃止となったときの 影響	廃止となった場合、子育て家庭の交流の場が無くなり、育児の不安や悩みを抱える家庭が増加する。

方向性	B:現状のまま継続
所見	地域の子育て拠点として重要な役割を果たしており、引き続き現在の体制を維持し実施していく。

年度

1. 基本情報

1. 坐作旧拟							
事業番号	030302020003	事務事業名	修学旅行打	爰助事業			
まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち	施策		bすいまちづくり			
基本施策	子どもの健やかな発育の支援	取り組み事項		爰サービスを充実する			
部名	健康福祉部	課名	子育て元気	ā 課			
事業の開始		終了年度	なし				
実施の概要	要保護、準要保護世帯に属する児童に修学旅行へ参加する機会を与え、児童の健全な育成と福祉の向上を図るため、修学旅行準備費用を助成する。						
対象	要保護、準要保護世帯に属する小学校6年	生及び中学校3年	生で、修学	旅行に参加する児童の保護者	E		
目的	要保護、準要保護世帯に属する児童の修学旅行準備費用を助成することにより修学旅行に参加する機会を与え、児童の健全な育成と福祉の向上を図る。						
事務事業類型	ソフト事業						
関連計画	第2期子ども・子育て支援事業計画						
根拠法令							

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値		計画値			
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.01	0.01	0.01	0.01
会計年度任用職員数			0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計			67,865	76,498	76,498	76,498
事業費計			91,000	147,000	147,000	147,000
フルコスト			158,865	223,498	223,498	223,498

(2)歳入 単位:人、円

		実績値			計画値		
		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特	国庫支出金			0	0	0	0
定	県支出金			0	0	0	0
	市債			0	0	0	0
源	その他			0	0	0	0
フルコ	ストー特定財源			158,865	223,498	223,498	223,498
事業	費計-特定財源			91,000	147,000	147,000	147,000

3. 評価指標

(1)/(1/2)11/2							
指標名 【質】支給割合							
単位	%						
指標数値のめざ	指標数値のめざす方向 維持						
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
単年度計画値	100	100	100	100	100	100	
単年度実績値	100	100	100				
前年比	_	100%	100%	_	_	_	
単年度達成率	100%	100%	100%	_	_	_	

指標名1	対象者1	人あたりのフルコ	スト			
単位	円/人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
単年度実績値	7,000	7,000	12,220			

4. 事後評価 (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当で ある	一般世帯の児童との均衡を保ち、児童の健全な育成と福祉の向上を 図っている。	なし
有効性	B:比較的有効で ある	現金給付により、児童の修学旅行の準備費用に充てることが出来、効 果的である。	なし
効率性	B:比較的効率 的である	修学旅行日の数週間前に支給することで、準備に要する物品等の購入を援助することが出来、効率的である。	なし
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革 改善効果がある	対象児童が精神的な負担を伴わず修学旅行に参加できる。	なし
透明性	B:比較的透明 性を確保してい る	教育委員会より対象者の情報提供を受けることにより、対象者への支 給を漏れなく実施している。	なし

(2) 総合評価

\ <u>_</u> /		
	総合評価	
	Α	

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	要保護、準要保護世帯の児童が安心して修学旅行に参加できる環境を整えるため、現在の支給額等を維持し、引き続き支援を実施していく。
休止・廃止となったときの 影響	廃止となった場合、要保護、準要保護世帯の児童が修学旅行に参加出来なくなる可能性が高ま る。

方向性	B:現状のまま継続
所見	適切に対象者に支給が出来ており、引き続き現在の体制を維持し実施していく。

年度

1. 基本情報

1. 22.77 1H TK					
事業番号	030302020005	事務事業名	子供の遊び	び場等設置補助事業	
まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち	施策	子育てしゃ	っすいまちづくり	
基本施策	子どもの健やかな発育の支援	取り組み事項	子育て支持	爰サービスを充実する	<i>.</i>)
部名	健康福祉部	課名	子育て元気	ā課	
事業の開始		終了年度	なし		
実施の概要	子どもに遊び場を提供し、その健康を増進するために行う新設や修繕等に係る費用の一		豊かにし、さ	さらに遊具による事故	の防止を図
対象	遊具等を管理する自治会や子供会、婦人会	等			
目的	子どもの遊び場の遊具等の新設や取り替え及び修理に要する費用の一部を補助することで、子どもの遊び場づくりを促進し、子どもの健全な育成を図ることを目的とする。				
事務事業類型	ソフト事業				
関連計画	第2期子ども・子育て支援事業計画				
	条例•規則•要綱				
根拠法令	相生市子どもの遊び場設備費等補助金交付要綱				

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値			計画値		
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.01	0.01	0.01	0.01
会計年度任用職員数			0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計			67,865	76,498	76,498	76,498
事業費計			59,950	150,000	150,000	150,000
フルコスト			127,815	226,498	226,498	226,498

(2)歳入 単位:人、円

		実績値					
		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特	国庫支出金			0	0	0	0
定	県支出金			0	0	0	0
	市債			0	0	0	0
源	その他			0	0	0	0
フルコ	コストー特定財源			127,815	226,498	226,498	226,498
事業	費計-特定財源			59,950	150,000	150,000	150,000

3. 評価指標

	, , , a - wild in					
指標名	【質】補助	力件数				
単位	件					
指標数値のめざ	ず方向維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	10,000	1	1	1	1	1
単年度実績値	0	0	1			
前年比	_		_		1	_
単年度達成率	-	-	100%	-	1	_

指標名1	補助件数	対1件あたりのフル	·コスト			
単位	円/件					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000
単年度実績値	0	0	127,815			

4. 事後評価 (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当で ある	自治会等が設置又は管理する遊び場への補助であり、子どもの健全 な遊び場や安全な遊具の提供のために補助を行うことは妥当である。	なし
有効性	B:比較的有効で ある	地域で子どもを育てるという観点からも、自治会等を対象に補助することは有効である。	なし
効率性	B:比較的効率 的である	補助額は新設や取り替えに要した費用の1/2であり、適正である。	なし
改革・改善プラン 達成度	C:改革改善効 果が低い	少子化等の影響により公園等の遊び場を利用する子どもの数が減少 しており、補助事業の利用実績も低調が続いている。	あり
透明性	C:透明性が低 い	利用実績が減少傾向にあり、広報等によるPRを行い、周知を行って行く必要がある。	あり

(2) 総合評価

<u>\-/</u>	100 H H I IM	
	総合評価	
	В	

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	自治会等に対し制度周知を行い、子どもの遊び場の確保のため引き続き実施していく。
	廃止となった場合、遊具等の入れ替え等が滞り、危険な状態のまま遊具を使用する例が出てくる 可能性がある。

方向性	B:現状のまま継続
所見	利用実績が無い年度もあることから自治会等に制度周知を行い、引き続き実施していく。

年度

1. 基本情報

1. 坐作用拟							
事業番号	030302020006	事務事業名	ファミリーナ	ナポートセンター事	業		
まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち	施策	子育てしゃ	すいまちづくり			
基本施策	子どもの健やかな発育の支援	取り組み事項	子育て支援	ffサービスを充実 [・]	する		
部名	健康福祉部	課名	子育て元気	ī 課			
事業の開始		終了年度	なし				
実施の概要	育児の手助けをしてほしい人(依頼会員)と育児の手助けができる人(提供会員)とが、相互援助活動を行う会員組織であり、双方の仲介を行う。						
対象	依頼会員と提供会員						
目的	市内に住所を有する労働者等の仕事と育児の両立を支援するための環境を整備するとともに、地域の子 育て支援を行い、労働者等の福祉の増進及び児童の福祉の向上を図る。						
事務事業類型	ソフト事業						
関連計画	第2期子ども・子育て支援事業計画						
	法律・政令・省令,条例・規則・要綱						
根拠法令	子ども・子育て支援法第59条第12項、児童福 事業実施要綱	冨祉法第6条の3第	14項、相生	市ファミリー・サホ	ペート・センター		

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値			計画値			
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度	
正規職員数			0.05	0.05	0.05	0.05	
会計年度任用職員数			1.0	1.0	1.0	1.0	
人件費計			1,747,545	1,847,170	1,847,170	1,847,170	
事業費計			462,315	752,000	632,000	632,000	
フルコスト			2,209,860	2,599,170	2,479,170	2,479,170	

(2)歳入 単位:人、円

		実績値			計画値			
		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度	
特	国庫支出金			154,000	210,000	210,000	210,000	
定	県支出金			154,000	210,000	210,000	210,000	
	市債			0	0	0	0	
源	その他			0	0	0	0	
フルコ	コストー特定財源			1,901,860	2,179,170	2,059,170	2,059,170	
事業費計-特定財源				154,315	332,000	212,000	212,000	

3. 評価指標

(: / THE STIFF IN	- 7 / 1 - 3 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 /						
指標名 【質】加入会員数							
単位	人						
指標数値のめざ	指標数値のめざす方向 維持						
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
単年度計画値	650	650	650	650	650	650	
単年度実績値	639	631	606				
前年比	_	98.74%	96.03%	_	_	_	
単年度達成率	98.3%	97.07%	93.23%	-	_	_	

指標名1	活動件	数1件あたりのフル	ノコスト			
単位	円/件					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	5,00	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
単年度実績値	6,13	1 1,890	4,384			

4. 事後評価 (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	妥当性 B:比較的妥当で 仕事と育児を両立できる環境の整備及び地域子育て支援を行うこと ある で、保護者等及び児童の福祉の増進を図かれている。		
有効性	Apply B:比較的有効で		なし
効率性	B:比較的効率 的である	アドバイザーにより育児に関する活動の調整、仕事の両立支援のため のニーズに応じた相互援助活動の調整を行こなえている。	なし
改革・改善プラン 達成度	C:改革改善効 果が低い	提供会員が減少傾向にある。提供会員が減少すると利用者のニーズ に対応出来なくなる可能性があるため、提供会員の確保に努める。	あり
透明性	B:比較的透明 性を確保してい る	事業の概要等について市広報や市ホームページにて周知を行えてい る。	なし

(2) 総合評価

<u>\-/</u>	100 H H I IM	
	総合評価	
	В	

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	引き続き事業を継続していくことで、仕事と育児を両立できる環境の整備や地域子育て支援を行い、保護者等や児童の福祉の増進を図る。
休止・廃止となったときの 影響	廃止となった場合、依頼会員の仕事と育児の両立に影響が生じる。

方向性	B:現状のまま継続
所見	仕事と育児を両立できる環境の整備や地域子育て支援を行い、引き続き保護者等や児童の福祉 の増進を図る。

年度

3

1. 基本情報

11 TALABAK							
事業番号	030302020008	事務事業名		爰券交付事業			
	健やかな暮らしを守り支え合うまち	施策		っすいまちづくり	•		
基本施策	子どもの健やかな発育の支援	取り組み事項		援サービスを充実 ⁻	する		
部名	健康福祉部	課名	子育て元気	表課			
事業の開始	平成23年度	終了年度	なし				
実施の概要	子どもが3歳に達するまでの間、有料の子育て支援サービスに利用できる子育て応援券2万円分を交付する。						
対象	新たに子どもが生まれた家庭又は3歳までの子どもを有して転入してきた家庭						
目的	有料の子育て支援サービスに利用できる子育て応援券を発行し、サービスを利用しやすくすることで、子育て家庭の不安解消や子育て負担の軽減を図るとともに、家庭や地域の子育て力を向上することを目的とする。						
事務事業類型	ソフト事業						
関連計画	第2期子ども・子育て支援事業計画						
	条例•規則•要綱						
根拠法令	相生子育て応援券交付事業実施要綱						

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値				計画値		
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度	
正規職員数			0.02	0.02	0.02	0.02	
会計年度任用職員数			0.11	0.11	0.11	0.11	
人件費計			290,634	314,111	314,111	314,111	
事業費計			1,523,370	3,014,000	2,014,000	2,014,000	
フルコスト			1,814,004	3,328,111	2,328,111	2,328,111	

(2)歳入 単位:人、円

		実績値			計画値		
		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特	国庫支出金			0	0	0	0
定	県支出金			0	0	0	0
	市債			0	0	0	0
源	その他			0	0	0	0
フル	コストー特定財源			1,814,004	3,328,111	2,328,111	2,328,111
事業	費計一特定財源			1,523,370	3,014,000	2,014,000	2,014,000

3. 評価指標

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
指標名	【質】利月	用率				
単位	%					
指標数値のめざ	す方向 維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			50	50	50	50
単年度実績値			40			
前年比	-	-	_	_	_	_
単年度達成率	-	-	80%	_	-	_

指標名1	利用者1	人あたりのフルコ	スト			
単位	円/人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			30,000	30,000	30,000	30,000
単年度実績値			20,868			

4. 事後評価 (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当で ある	応援券を交付することで有料の子育て支援サービスが利用しやすくなる。	なし
有効性	B:比較的有効で ある	主に任意予防接種に利用されており、予防接種の接種率向上に寄与 している一方、予防接種以外のサービスについては利用実績が少な いため、周知の方法等を検討し直す必要がある。	あり
効率性	C:効率性が低 い	利用率(利用金額/交付金額)は減少傾向にある。	あり
改革・改善プラン 達成度	C:改革改善効 果が低い	主な利用先は任意の予防接種だが、予防接種が任意接種から定期接種にかわることなどで、利用数が大きく減少している。	あり
透明性	B:比較的透明 性を確保してい る	申請漏れが無いよう対象者を抽出し、未申請者へは個別に案内をする等の対応を行い、速やかに交付出来ている。	なし

(2) 総合評価

\ <u>_</u> /		
	総合評価	
	В	

(3)方向性評価(担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	利用できるサービスの見直しを含め、事業の在り方を検討していく必要がある。
休止・廃止となったときの 影響	任意の予防接種の接種率が減少する可能性がある。

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
	利用実績としては任意の予防接種が大半を占めているが、予防接種の状況により利用実績が大きく影響を受けるため、利用できるサービスの見直しを含め、事業のあり方を検討する。

年度

3

1. 基本情報

1. 坐作用拟								
事業番号	030302020009	事務事業名	出産祝金3	支給事業				
まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち	施策	子育てしゃ	っすいまちづくり				
基本施策	子どもの健やかな発育の支援	取り組み事項	子育て支持	爰サービスを充実:	する			
部名	健康福祉部	課名	子育て元気	ā 課				
事業の開始	平成23年度	終了年度	なし					
実施の概要	出産祝として祝金1万円を支給する(1号祝金)。また、出生児が出生時に第3子以降の場合で、次年度以降も継続して市内に在住の場合は10万円を3年間支給する(2号祝金)。							
対象	子どもの出生時に市内に住民票を有し、出生	E児と同居かつ監	護している	者				
目的	出産のお祝いと子育てにかかる費用の軽減	を図ることを目的。	とする。					
事務事業類型	ソフト事業							
関連計画	第2期子ども・子育て支援事業計画							
	条例·規則·要綱							
根拠法令	相生市出産祝金支給要綱							

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.21	0.21	0.21	0.21
会計年度任用職員数			0.11	0.11	0.11	0.11
人件費計			1,580,079	1,767,588	1,767,588	1,767,588
事業費計			9,712,990	15,403,000	15,403,000	15,403,000
フルコスト			11,293,069	17,170,588	17,170,588	17,170,588

(2)歳入 単位:人、円

		実績値			計画値			
		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度	
特	国庫支出金			0	0	0	0	
定	県支出金			0	0	0	0	
	市債			0	0	0	0	
源	その他			0	0	0	0	
フルコ	コストー特定財源			11,293,069	17,170,588	17,170,588	17,170,588	
事業	費計-特定財源			9,712,990	15,403,000	15,403,000	15,403,000	

3. 評価指標

指標名	【質】支絲	質】支給割合				
単位	%					
指標数値のめざ	ず方向 維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	100	100	100	100	100	100
単年度実績値	100	100	100			
前年比	_	100%	100%	_	_	_
単年度達成率	100%	100%	100%	-		_

指標名1	対象者1	人あたりのフルコ	スト			
単位	円/人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
単年度実績値	11,833	26,286	44,992			

4. 事後評価 (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当で ある	出産のお祝いと出産・育児にかかる費用負担に配慮するものであり、 子育てしやすい環境整備を図れている。	あり
有効性	B:比較的有効で ある	子どもを産み育てやすい環境整備を図ることにより、若年人口の増加 と定住を促進出来ている。	あり
効率性	B:比較的効率 的である	子育て元気課が所管することで、出生時の他の子育て施策の申請状 況等を調整・把握が出来、効率的な執行体制といえる。	あり
改革・改善プラン 達成度	B:比較的改革 改善効果がある	2号祝金の対象者について、転出者はあまりおらず、定住を促進出来 ている。	あり
透明性	A:透明性が高い	1号祝金、2号祝金とも対象者の抽出を行い、すべての対象者に支給 出来ている。	あり

(2) 総合評価

\ <u>_</u> /	1100 H H I I I I I	
	総合評価	
	Α	

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	1号祝金、2号祝金とも適切に支給出来ている。引き続き適切な支給に努め、定住促進の効果を 高める。
	廃止となった場合、市として出生児や多子で在住している世帯を祝う機会が無くなり、定住促進を 弱めることにつながる。

方向性	B:現状のまま継続
所見	引き続き出生児及び多子世帯を祝うことで定住を促進していく。